

令和7年度「ひびきあい活動」実施報告書

学校名	飛騨市立 古川小学校
学校が培いたい行動力	人とのつながりの中で、自分や周りの人のよさやちがいを自覚し、自分や仲間を大切にしていこうとする力
今年度の重点	児童運営委員会が行っている、にこにこボックス（素敵なところみつけ）をさらに広め、児童同士が互いのよさやがんばりに気づき、認め合う関係づくりを促進したり、感謝の気持ちや相手を大切にしたりする心を育てる。
実施概要	<p>(1) にこにこカード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が友達の素敵なところを見つけ、カードに書いて「にこにこボックス」に投函。放送で毎日いくつか紹介をし、廊下掲示をおこなった。 ・素敵を見つける観点(①感謝②応援③自分らしさ④おかげさま)を運営委員から全校に広め、相手に伝わるようにメッセージの質の向上を目指した。 <p>(2) にっこりカード(にこにこカードのお返しカード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードを書いてもらった児童が、「気づいてくれてうれしかったよ。」「見てくれてありがとう。」などの感謝の気持ちを表す、にっこりカードを作成。 ・運営委員会が仕分けし、担任を通して本人に届けた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>児童のふりかえり</p> <p>低学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくのことをみていてくれた人がいて、うれしかったです。にっこりカードがかえってきてうれしかった。 ・ともだちのいいところをさがすのがたのしかったです。 <p>中学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分では気づいていないところを友だちが見つけてくれて、びっくりしたけどうれしかったです。 ・カードを書くとき、どんなところがいいかな?とよく考えるので、友だちのことを前よりもよくみるようになった。 <p>高学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にこにこカードを書くことで、友だちの行動を前向きにみられるようになった。 ・にっこりカードをもらったとき、友だちが自分のことをちゃんと見てくれたんだと思い、自信になった。 ・運営委員として、カードを仕分けしたり、放送を読んだりして、みんなのいいところがたくさん見つかったことを知り、学校があたたかい場所だと感じた。 </div>
成果及び課題	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前よりも、友だちの素敵なところを探す姿が増えた。 ・にっこりカード(お返しカード)により、「見てくれて嬉しい」「認められた」といった児童の声が聞かれた。 ・全学年で温かい雰囲気広がりが、休み時間や授業中の声かけが丁寧になるなど、行動面の変化が見られた。 ・運営委員会の児童が主体的に動き、責任感や協働性が育った。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間中、カードを書く時間が学年によって確保しにくい日があった。 ・全員がにっこりカードを受け取れるようにするためのさらなる支援が必要。 ・「よさに気づく作戦を考える」の機会を今後定期的に位置づける必要がある。 <p>(今後の展望)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードを書くための短い“すてき見つけタイム”を定期的に設定 ・授業のペア活動の中で、よさ探し時間を取り入れ、全員が必ず一回はよさを伝え合える仕組みづくり ・運営委員会とも協力し、年間を通して「認め合う文化」を育てていく。